

第 3 回会議の意見と 反映状況について



1 前回会議での主なご意見と反映状況

区 分

- | | |
|---|-----------------|
| ① | 意見交換①～計画事務局素案全体 |
| ② | 意見交換②～データの利活用 |
| ③ | 意見交換③～人材の育成・確保 |

区分	委員からの主な意見	対応状況	該当ページ（計画本文）
①	Society5.0に取り組まなければならない理由をはじめにでもっと強調した方がいい。	「はじめに」や「第3章」の冒頭部分の記載を修正。	P1,P32
①	Society5.0の捉え方について、今の情報化社会から次の新しい誰もが見たことのない社会へと社会そのものの風景が変わるということを書き込むべき。	「はじめに」の「Society5.0」の説明文を修正。	P3
①	少子化対策について、第3章の基本方針部分で強調すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・第3章をはじめ、計画全体で「高齢化」とされていた所を「少子高齢化」として「少子化問題」を追記。 ・第4章の「行政」で国が進めている子育てに関するサービスについて追記。 	P33,P58,P59

区分	委員からの主な意見	対応状況	該当ページ（計画本文）
①	教育に関する記載について第3章の部分で強調すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・第3章の概念図に「ITリテラシーの向上」を追記。 ・第3章の(5)「基盤整備」の記載内容に人材の育成・確保に関する記載を追記。 	P.33,34
①	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップに関する記載が少ない。 ・スタートアップの支援は長期的には北海道のデジタル人材確保に繋がるため、推進してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4章の「産業」(b)の主な施策に追記。 	P52
①	自動運転について、北海道ではカートではなく、バスなどもっと根本的な解決に繋がるような取組をしてほしい。	所管部局へ意見を報告。	—
①	建設について、維持管理の面でICTを使った取組を追記できないか。（省人化など）	<ul style="list-style-type: none"> ・第4章の「暮らし」(f)と「産業」(e)の施策に「ICTを活用した効率的な維持管理等の推進」と記載。 	P46,P55
①	道内のキャッシュレス化に関して推進策はどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・第4章の「暮らし」(c)の施策に「キャッシュレス決済の更なる普及に向けた取組の推進」と記載。 	P43

区分	委員からの主な意見	対応状況	該当ページ（計画本文）
②	リアルタイムデータの取得に関する検討が必要。	東京都や京都府、札幌市、道内事業者とも意見交換をし、検討を進めている。	—
②	データを活用したサービスの展開が重要でメリットがないと進まない。	サービス展開に向けて必要となるデータについて官民ラウンドテーブルを開催するなど検討を進めている。	—
②	データ公開により出てくる利益をどのように経済システムに盛り込み自走するかを検討した方がいい。（経済原理を含めた検討）	東京都や京都府、札幌市、道内事業者とも意見交換をし、検討を進めている。	—
③	企業等に勤める社会人と教育提供者との橋渡しをするようリカレント教育の検討をしてはいかがか。また、道内の研修やセミナーの情報が受け手に分かりやすいよう公開してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・リカレント教育について、第4章「暮らし」(b)及び「基盤整備」(c)に施策を記載。 ・研修やセミナーの情報について、北海道産業人材育成連携会議（道経済部所管）で「研修・セミナーポータルサイト」を運営中。 	P40,P64

区分	委員からの主な意見	対応状況	該当ページ（計画本文）
③	<p>デジタル人材の定義について整理をする必要がある。プログラムを作る人はプロで最低限のことで文書をパソコンで作れる、必要な情報を自分で集められる人をどう育てるかなど。</p>	<p>第4章の「暮らし」と「基盤整備」にあるデジタル人材について、記載内容を整理する。</p> <p>「暮らし」…学校教育、学び直し 「基盤整備」…専門人材、リテラシー向上</p> <p>※完全な整理は難しいため、取組の再掲などで補完する形を取りたい。</p> <p><方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「暮らし」は、学校教育やリカレント教育による道民のITリテラシーの向上が図られた、Society5.0時代を生きる上で最低限のスキルを身につけた人を指すものとして記載内容を整理。 ・「基盤整備」は、ITリテラシーの向上だけでなく、専門性を持った人材の育成といったものを指すものとして記載内容を整理。 ・「基盤整備」の取組目標にデジタル人材の底上げを意識した「ITリテラシーの向上」について追記。 	P40,P64